

1998～1999年度

国際ロータリー会長
テーマ
ガバナー
第四分区代理
理事 役員



ジェイムスL. レイシー
ロータリーの夢を追い続けよう
加 藤 昭 (仙台東RC)
八木原 勇 (七ヶ浜RC)
第27代会長 赤 間 利 夫
会長エレクト 小 野 薫
副会長 佐 藤 邦 武
幹 事 田 口 俊 男
会 計 中 村 栄 昭
監 事 大 村 禮二郎
会場監督 鈴 木 典 雄

理 事 影 山 英 雄 クラブ奉仕委員長 橋 沼 義 光
職業奉仕委員長 安 住 仁 三 青少年奉仕委員長 阿 部 祝 夫
社会奉仕委員長 大 場 光 夫 国際奉仕委員長 菅 野 弘 己

30周年記念を迎えて

第27代会長 赤 間 利 夫

私の多賀城クラブへの入会は、1983～1984年度の昭和58年8月で、30周年を記念すべき年度で、丁度19年を迎える事になります。

クラブ創立30周年を迎え、顧みますと先ず創立当時ご苦勞なされました会員の皆様方へ深く感謝申し上げますと共に、既にご他界なされました13名の先輩皆様方に心からご冥福をお祈り申し上げる次第でございます。

私の入会当時、国際ロータリークラブ会長は、ウィリアム・E. スケルトン氏で、テーマは「みんなにロータリーを、みんなに奉仕を・・・」のスローガンを掲げ、当時は第252地区所属で、ガバナーは岩手県の、作 並 健様でした。多賀城クラブは、名誉会員 伊藤喜一郎 多賀城市長様はじめ、クラブ会長が大 津 俊様で、会員数38名(シニア5名)、平均年齢は43歳の会員の皆様方でした。

この間、数多くの方々と手に手繋いで19年交わりを深めさせていただき、人生の大事な時代を過ごさせていただきましたが、特に心に残る事柄の記憶を辿りますと1984～1985年度、多賀城ロータリークラブに野球同好会の発足でした。ベースボール委員会を組織、初代監督に宮城東蔵ガバナーエレクトが采配の下、全国RC野球大会「甲子園・神宮球場」に15名の会員選手が勢揃いで出場、ロータリーの原点の一つは、親睦から始まり、その一環としての野球大会がスタート。甲子園の土を踏み、同時に東北の高校生球児達が出来得なかった優勝旗を「白河の関」を越える為、力を結束し、また野球を通じて親睦の輪を大いに広めたいと、ロータリー精神で頑張りました。

結果については、政治家が得意とする言葉で前の事なので忘れました。クラブ創立30周年に当たり、長い間楽しい交わりのもと、限り無きご指導を賜りました諸先輩の皆様方に改めて感謝を申し上げますと共に、念願達成のお慶びと、更にご祈念申し上げます。
(会員数47名)